

 **DISK SYSTEM**
ファミリーコンピュータ ディスクシステム
TKS-FC0

ファミリーコンピュータ



東京書籍

©1987 Sunsoft/Kotobuki

このたびは、「ファミリーコンポージャー」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

「ファミリーコンポージャー」は初心者にはあくまでやさしく、プロの要求にもバッチリ応える、画期的な作曲ソフトです。あなたのオリジナル・サウンドがファミコンから美しい音楽となって流れる！この感動をたっぴりと味わっていただけるとは思いません！！

ご使用前に、取扱いかた、使用上の注意等、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用法で、ご愛用ください。

なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。



ファミリー コンポージャー

目次

ディスクカードのセット	4
作曲講座	
初級編／リアルタイム入力モード	5
中級編／グラフ入力モード	15
上級編／コード入力モード	20
作曲に役立つ表示や機能	22
グラフィックプレイヤーで楽しもう！	23
曲のセーブ／ロード	24
特別実躍講座「ねこふんじゃった！変奏曲」	26
これだけは覚えてほしい注意事項	28

♪ ディスクカードのセット

●まず、ファミコン本体とRAMアダプタ、ディスクシステムを正しく接続して、本体のPOWERをONにします。右のようなタイトル画面が出たら、ディスクカードをSIDE Aを上にしてセットします。もし画面がちゃんと出ないときは、接続をよく確かめて、もう一度最初からやり直してください。



●“NOW LOADING”という表示が画面中央に出たあと、しばらくすると右の画面が出ます。そして、タイトル画面が出れば、OK!! もしも、この2つの画面が出ないで、“ビービーッ”と音がしたら、異状が起きた合図です。そのときはディスクドライブの赤ランプが消えてから、ディスクカードを取り出し、30ページを見て原因を調べて、もう一度やり直してみましょう。



♪ 作曲講座★初級編★リアルタイム入力モード

(リアルタイム入力モードで作曲してみよう!)

とにかく簡単に、オリジナルサウンドを作曲できちゃうのが“リアルタイム入力モード”。ここで「ファミリーコンポーザー」の基本操作も覚えてしまいましょう!

(コンポーザー画面への切りかえ)

右のタイトル画面のメニューから、1.COMPOSERを選びます。

✦ボタンの上下で◀▶を動かし、(スタート)を押すと、“Bメン

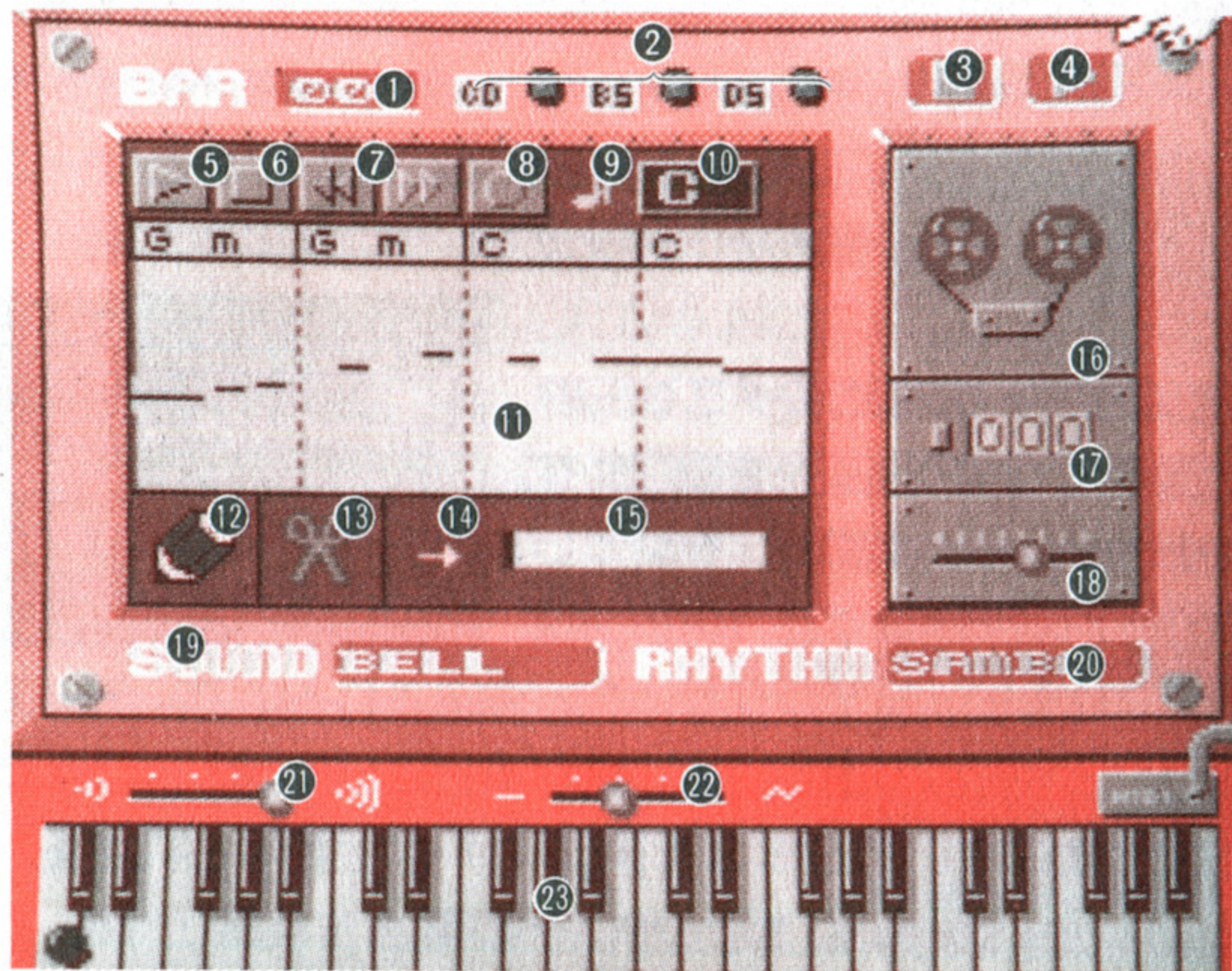



ヲ セット シテクダサイ”と表示されるので、ディスクカードを取り出し、SIDE Bを上にしてセットします。画面は、“シバラク オマチクダサイ”と表示された後、コンポーザー画面に切りかわります。

注意

ソフトを起動後、メニュー画面のままにしておくと、自動的にデモ演奏が始まるので、リセットボタンを押して、メニュー画面にもどしてください。

(コンポーザー画面)



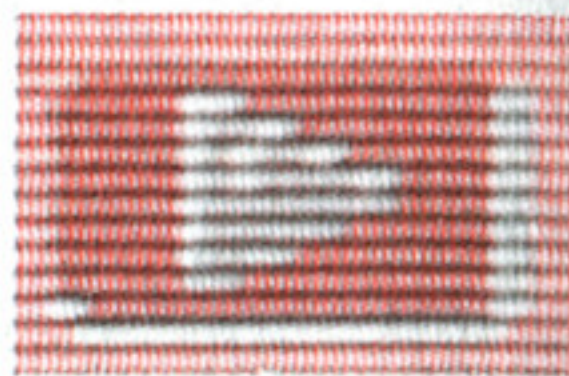
コンポーザー画面で、各スイッチのON/OFFや設定の変更をするためには、**+**ボタンで  を移動して①または②ボタンを押します。

- ① 小節カウンター (⇒22ページ)
- ② 伴奏パートスイッチ (⇒13ページ)
- ③ メニュースイッチ (⇒22ページ)…メニュー画面への切りかえスイッチ
- ④ リズムスイッチ (⇒8ページ)…リズム画面への切りかえスイッチ
- ⑤ 再生ボタン (⇒11ページ)
- ⑥ ストップボタン (⇒11ページ)
- ⑦ 早送り/巻戻しボタン (⇒10ページ)
- ⑧ レコーディングボタン (⇒9ページ)
- ⑨ 音長スイッチ (⇒17ページ)
- ⑩ 音名表示盤 (⇒22ページ)
- ⑪ メロディーグラフ (⇒15ページ)
- ⑫ グラフ入力スイッチ (⇒15ページ)
- ⑬ コピースイッチ (⇒19ページ)
- ⑭ スケールスイッチ (⇒18ページ)
- ⑮ 現在位置表示盤 (⇒22ページ)
- ⑯ テープレコーダー (⇒22ページ)…五線譜表示盤に切りかえることができる。
- ⑰ テープカウンター (⇒10ページ)
- ⑱ テンポ調整スイッチ (⇒13ページ)
- ⑲ サウンド表示 (⇒14ページ)
- ⑳ リズム表示 (⇒14ページ)
- ㉑ 音量調整スイッチ (⇒13ページ)
- ㉒ ビブラート調整スイッチ (⇒13ページ)
- ㉓ キーボード…作曲・再生中の音を●で表示。

(伴奏のリズムを選ぼう！)

“リアルタイム入力モード”で作曲をするには、まず、伴奏となるリズムの種類を選びます。

☞ をリズムスイッチに動かし、Ⓐボタンを押すと、画面がスクロールし、“リズム画面”が表示されます。



リズムスイッチ

この画面で伴奏のリズムを選ぶことができます。✚ボタンで好きなリズムに☞を動かし、Ⓐボタンを押すと、*マークが移動し、選んだリズムが演奏されます。リズムが決まったら、(セレクト)を押すと、コンポージャー画面にもどります。



リズム画面

このリズム画面でリズムを設定すると、リズムごとに予め決められた伴奏のコード進行とメロディーの音階(スケール)がセットされ、絶対に音はずれずに作曲できるようになります。スケールやコードの設定を変えずにリズムを変える方法は14ページを見て下さい。

(リアルタイム入力モードでの作曲)

☞ をレコーディングボタンに移動して、Ⓐボタンを押すと、伴奏が始まります。これに合わせてメロディーを作曲してみましょう。

メロディーの作曲は、Ⓐボタンと✚ボタンを操作して、メロディーを演奏することによって行います。メロディーを演奏すると、メロディーグラフにグラフが表示され、キーボード上の●が動きます。

演奏方法

- Ⓐボタン……押すと音が鳴ります。
- ✚の左右……右は高音，左は低音へ，連続的に音程が変化します。
- ✚の上下……1回押すごとに，上は高音，下は低音に，音程が1つずつ動きます。

作曲を終わらせるには、(スタート)ボタンを押してください。伴奏が止まり、グラフの表示は、作曲を始めた小節にもどりましたね。

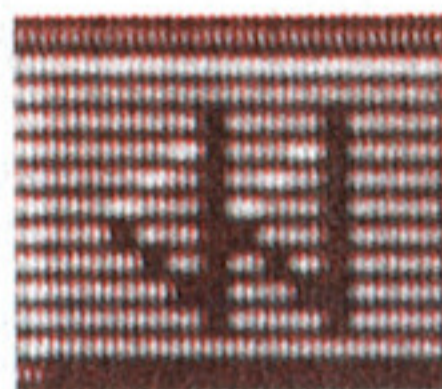
(曲のサーチと再生)

では、いま作曲した曲を再生してみることにしましょう。

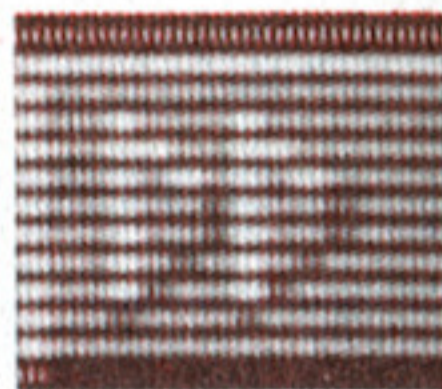
再生は、メロディーグラフに表示されている小節から始めることができます。ここで、曲のある部分を呼び出す、サーチをしてみましょう。

サーチは、早送りボタンまたは

巻戻しボタンに  を移動し、



巻戻しボタン



早送りボタン

サーチ方法

●①ボタン (低速サーチ)


16分音符単位でサーチをする。

●②ボタン (中速サーチ)

2分音符単位でサーチをする。


●①ボタン+②ボタン (高速サーチ)

8小節単位でサーチをする。

その他に、一気に曲の先頭をサーチする方法としては、テープカウンターへ  を移動し、①ボタンを押す、という方法もあります。

再生にも次の2種類のやり方があります。

再生方法

①再生ボタン(▷)に  を移動し、①または②ボタンで再生開始。ストップボタン(□)で再生ストップ。

再生中、楽譜は自動スクロールし、演奏されているところが表示され、再生をストップすると楽譜表示は、ストップしたところで止まる。

②(スタート)ボタンで再生が開始され、もう一度、(スタート)ボタンで再生ストップ。再生中、楽譜スクロールは行われない。

※再生ボタンによる再生は、作曲した曲全体の調整に、(スタート)ボタンによる再生は、作曲中の部分再生(モニター)のときに使うと便利です。

(メロディーの修正)

作曲したメロディーは、もう一度リアルタイム入力モードをスタートすることで、メロディーグラフに表示された小節から修正することができます。

①全てのメロディーを消したい場合

(セレクト)ボタン+②ボタンを同時に押してください。

すると画面に右のように表示されるので、メロディーを消すときには④ボタンを、消さないときには+ボタンで●を“NO”に移動して④ボタンを押します。

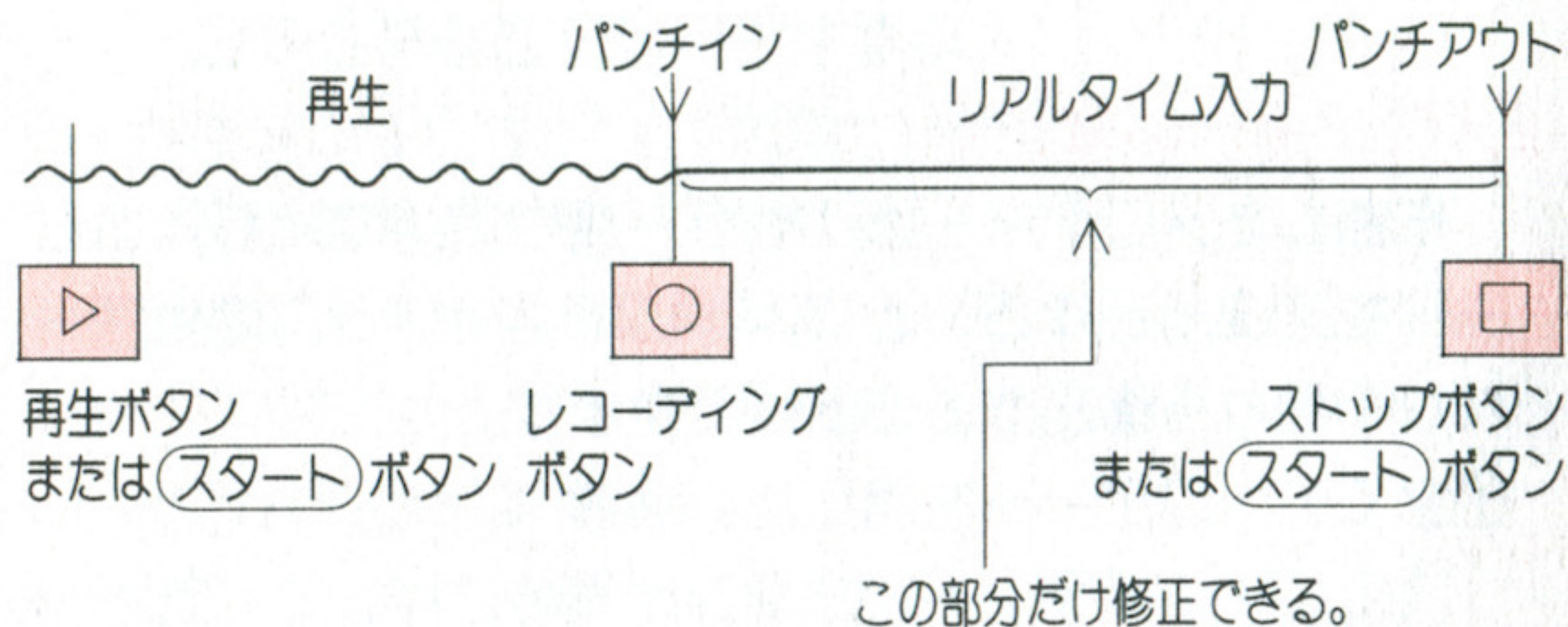


②曲の途中からメロディーを修正するとき

メロディーを修正したい小節をサーチにより呼び出し、レコーディングスイッチに 冪 を合わせて④ボタンを押します。

③パンチイン・パンチアウト

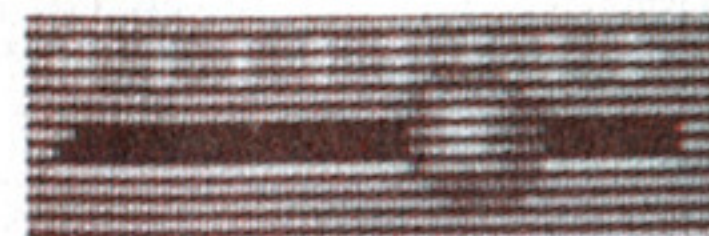
次のようにして、すでに作曲したメロディーの一部だけを修正することができます。



(テンポ・音量・ビブラートの変更)

テンポ・音量・ビブラートの変更は、それぞれの調整スイッチに 冪 を移動し、④ボタンでスイッチを右へ、⑤ボタンでスイッチを左へ動かして調整します。

テンポ調整スイッチ



遅← →早

音量調整スイッチ



小← →大

ビブラート調整スイッチ



弱← →強

これらの変更は、再生中にもできるので、作曲した曲を再生演奏させながら、各スイッチを動かしてみましょう。

(伴奏パートのON/OFF)

レコーディング中、または再生中に演奏される伴奏音の種類は、伴奏パートのON/OFFスイッチで調整することができます。スイッチのON/OFFは、各スイッチに 冪 を移動し、④ボタンで行います。●が青のときはON、黒のときはOFFの状態です。


例えば、伴奏パートスイッチを、左から黒 黒 青、つまりドラムだけONにして、曲を再生してみましょう。伴奏がドラム音だけになりましたね。

伴奏パートスイッチ




コード ベース ドラム

(メロディー音色の変更)

「ファミリーコンポーザー」では、メロディーの音色が14種類用意されています。音色の変更は、サウンド表示(SOUND)に  を移動し、**A**・**B**ボタンで行います。

② ボタン ↑	1.PIANO1—ピアノ1	8.BRASS—ブラス
	2.PIANO2—ピアノ2	9.STRING—ストリングス
↓	3.ORGAN—オルガン	9.BELL—ベル
	4.P.ORG—パイプオルガン	11.BANJO—バンジョー
① ボタン	5.HRPSC—ハーブシコード	12.HARMON—ハーモニカ
	6.OBOE—オーボエ	13.ACORD—アコーディオン
	7.CLARIN—クラリネット	14.FUE—笛

(伴奏のリズムの変更)

コンポーザー画面でリズムを変更すると、伴奏のコードやスケールの設定を全く変えずに、1つの曲をいろいろなリズムで楽しむことができます。リズムの変更はリズム表示に  を移動し、**A**・**B**ボタンで行います。


② ボタン ↑	1.ROCK1—ロック1	9.JAZZ—ジャズ	17.ENKA1—演歌1
	2.ROCK2—ロック2	10.C&W—カントリー&ウェスタン	18.ENKA2—演歌2
↓	3.BOGGIE—ブギウギ	11.WALTZ1—ワルツ1	19.BOSSA—ボサノバ
	4.POPS1—ポップス1	12.WALTZ2—ワルツ2	20.SAMBA—サンバ
↑	5.POPS2—ポップス2	13.KANON—カノン	21.REGGAE—レゲエ
	6.DISCO—ディスコ	14.FOLK1—フォーク1	22.TANGO—タンゴ
① ボタン	7.R&B—リズム&ブルース	15.FOLK2—フォーク2	23.SPAIN1—スパニッシュ1
	8.FUSION—フュージョン	16.FOLK3—フォーク3	24.SPAIN2—スパニッシュ2

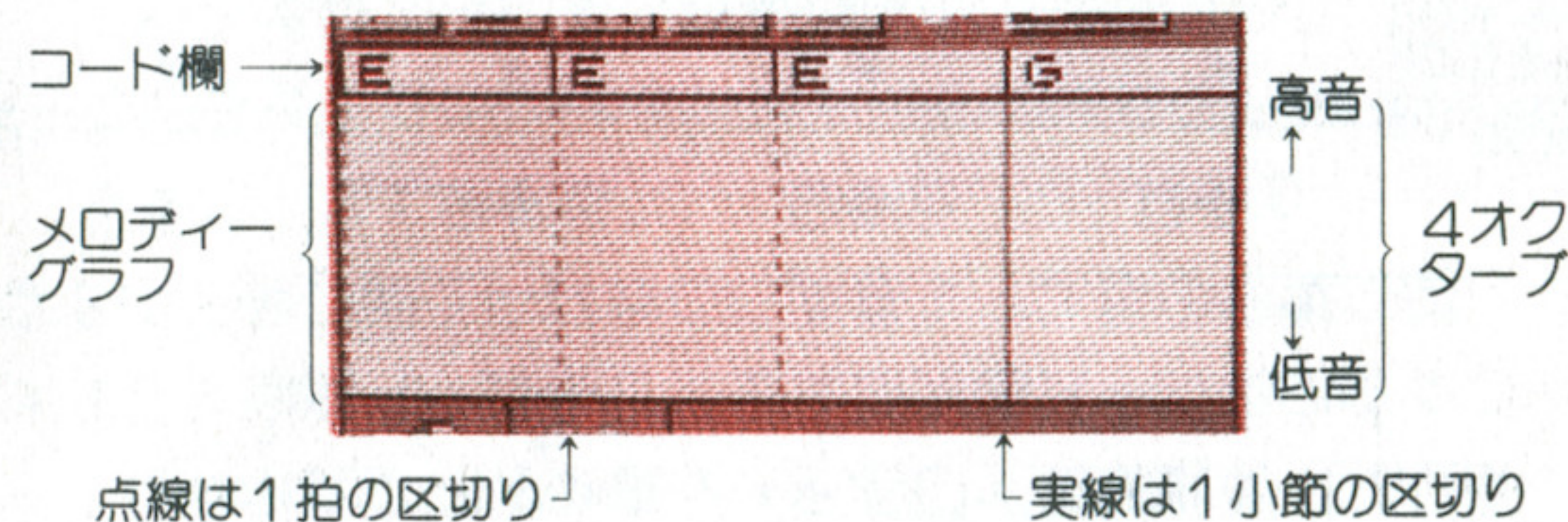
作曲講座★中級編★ グラフ入力モード

(グラフ入力のテクニックをマスターしよう!!)

基本操作がわかったところで、1音ずつ細かい部分を指定しながら作曲する方法、「グラフ入力モード」をマスターしましょう。

(グラフ入力モード)

グラフ入力モードでの作曲は、メロディーグラフに1音ずつメロディーを書いていくやり方で行います。グラフ入力モードへの切りかえは、エンピツのマークのグラフ入力スイッチに  を移動し、**A**ボタンを押して行います。すると、メロディーグラフにエンピツが表示されグラフ入力モードに切りかわりましたね。このエンピツでグラフを書いていきましょう。

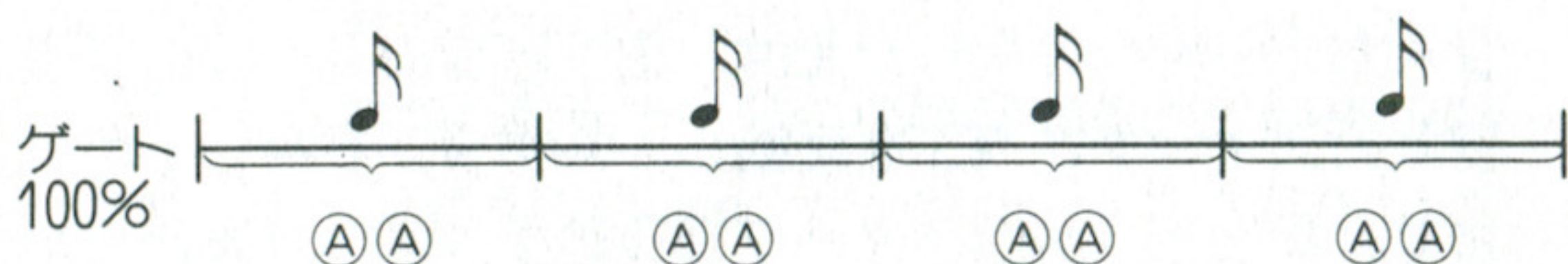


(グラフの書き方)

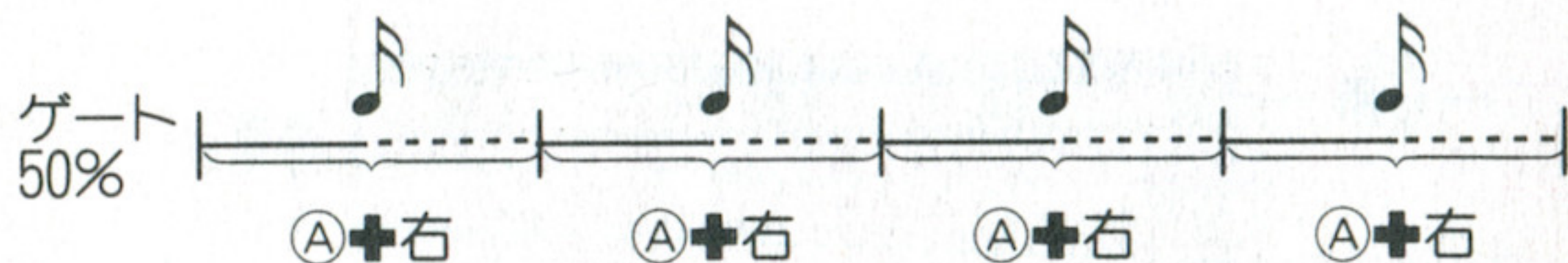
エンピツは、**+**ボタンで移動し、**A**ボタンで音を書け、**B**ボタンで音を消すことができます。**A**ボタン、**B**ボタンを押すごとに書いたり消したりする音の長さは、音長スイッチで設定された長さになりますが、**A**ボタンで音を書く場合は、1回押すと設定した音長の50%だけ音が出て、2回押すと100%音が出ます。(ゲート機能)

書き方

音長スイッチが♪の場合



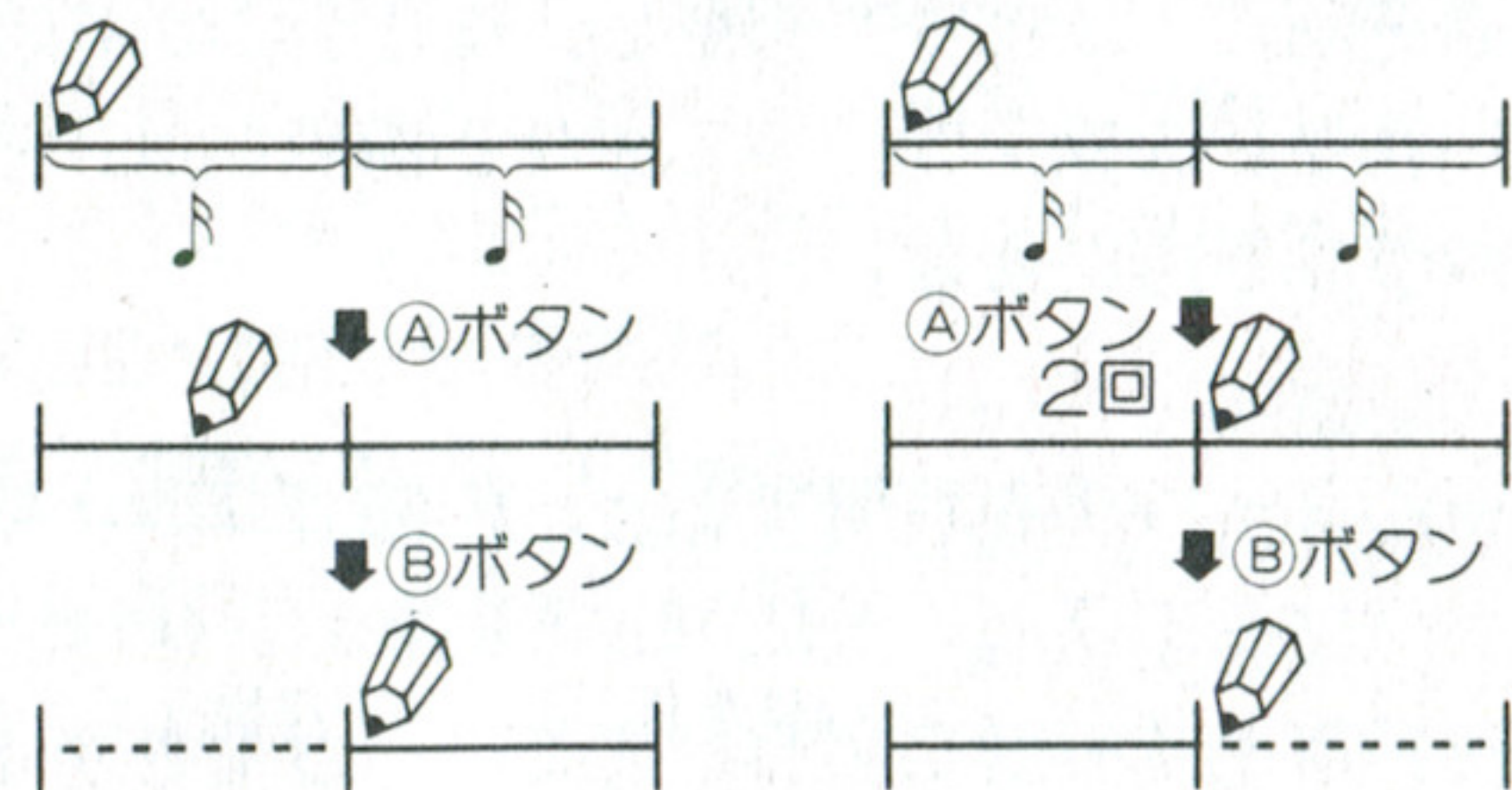
♪が4音つながっているのと同じ高さの音であれば、♪1音と同じ様に聞こえる。



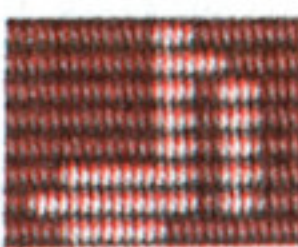
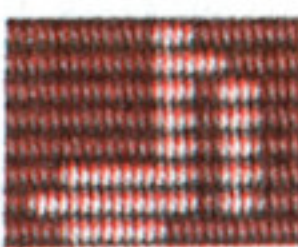
同じ高さの音で、1音ずつつながって聞こえないようにするにはゲート50%にする。このゲート機能をうまく使うと、能率的にメロディーを書くことができます。

消し方

音長スイッチが♪の場合



(音長スイッチの設定)

長い音を書いたり消したりするのに、いつも16分音符単位でやっているのでは能率が悪いので、音長スイッチで音の長さの設定を変えてみましょう。**セレクト**ボタンを押すとグラフ入力モードからぬけて、が出るので、を音長スイッチに移動し**A**または**B**ボタンで切りかえていきます。音長は5種類に切りかえることができます。

音長スイッチ

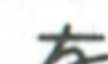
Bボタン ← → **A**ボタン



(グラフのスクロール)


メロディーグラフをスクロールするには、グラフの右端または左端にエンピツを移動し、**+**ボタンの右または左を押します。高速スクロールさせる場合には、**+**ボタン+**ⓑ**ボタンで行います。

(スケールスイッチ)

スケールスイッチを利用すると、作曲がグンと楽になります。スケールスイッチに  を移動し、**Ⓐ**または**ⓑ**ボタンを押すと4段階に切りかえることができます。

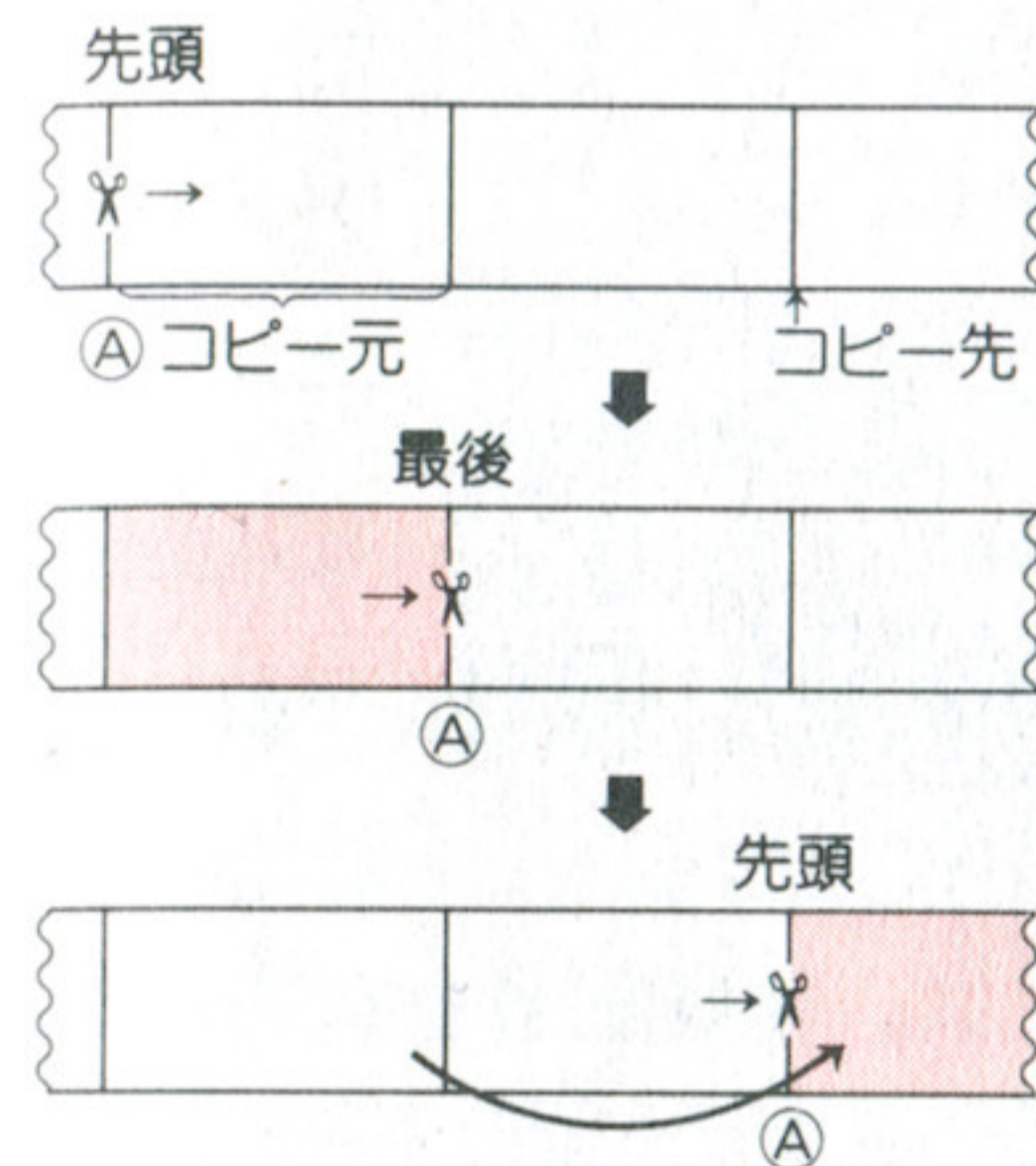
- ①→ : リズムに合ったスケールの音しか入力できない。
+の上下+**Ⓐ**ボタンで自由にメロディーを書いても、絶対に音程がはずれない。
- ②↗ : **Ⓐ**ボタンを押し続けると、その間、リズムに合ったスケール上を順に上っていくメロディーが自動的に書ける。
- ③↘ : **Ⓐ**ボタンを押し続けている間、リズムに合ったスケール上を順に下っていくメロディーが書ける。
- ④^C→ : 設定したリズムに関係なく全ての音程が入力可能。ただし、エンピツの色が赤のときは、リズムに合う音程で、緑のときは合わない音程。

(グラフのコピー)

曲のくり返しの部分を作ったり、グラフの一部の位置をずらしたい時には、コピー機能を利用します。 をハサミのマークのコピースイッチに移動し、**Ⓐ**ボタンを押すと、グラフ上にハサミのマークが出ます。ハサミは**+**ボタンで動かしますが、上下は3段階に動き、ハサミの位置によってコピーする内容がちがいます。(右の表参照)

- 上: コード欄のみ
- 中: コード+メロディーグラフ
- 下: メロディーグラフのみ

まずコピーする内容を上の3つから選んだら、次にコピー元の先頭と最後、それぞれの位置へハサミを移動し



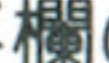
Ⓐボタンを押します。するとコピー元がアミ目でおおわれるので、最後にコピー先の先頭へハサミを移動し、**Ⓐ**ボタンを押します。これでコピー完了です。コピー機能を中止したい時は **セレクト** ボタンを押してください。

作曲講座★上級編★ コード入力モード



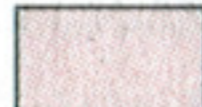

(上級テクニックに挑戦!!)

メロディーの入力方法をマスターしたら、いよいよ伴奏も自分で作ってしまうテクニックに挑戦！伴奏のコード進行を自分の好きなように入力できれば、大好きな曲を演奏することも、プロ顔負けの曲を作ることも可能!!

(コード入力モード)



メロディーグラフの上段のコード欄の左端へ  を移動し、**A**ボタンを押すと、コード入力モードに切りかわり、グラフ部分にコードパレットが表示されます。

●コードパレット

C	C#	D	D#	E	F	F#	 : ルート
G	G#	A	A#	B	C▲	STP	 : タイプ
M	m	7	M7	dim	SUS4	!	 : 特殊語号
M-	m-	*	X	Lop	◀	▶	 : 移動キー

コードの設定は、ルート+タイプで行い、1拍ごとに指定します。さらにコード欄には、特殊記号を指定することもできます。

(コード設定方法)

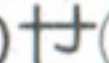


まず、 をコードを設定したい拍に移動します。⑧ボタン+**+**ボタンの左右で移動します。次に、コードパレット上の●を**+**ボタンで移動し、**A**ボタンを押すと、 のある拍にコードが設定されます。

- ルート …… C~C▲(C▲はCの1オクターブ上)
- タイプ (…… 初期設定はメジャーで、無表示)
 M: メジャー M7: メジャーセブンス
 m: マイナー dim: ディミニッシュ
 7: セブンス SUS4: サスペンデッド4
- 特殊記号
 STP: ストップ。曲の終了。
 LOP: ループ。曲の先頭からLOPを設定した直前の拍までをくり返し演奏。
 * : 伴奏がドラムのみ。
 X : 伴奏なし。
 ! : ブレーク。拍の頭に伴奏がジャン!と鳴る。
 M- : メジャーで伴奏が1拍分ジャンとのびる。
 m- : マイナーで伴奏が1拍分ジャンとのびる。



コード入力モードを終わるには(セレクト)ボタンを押します。

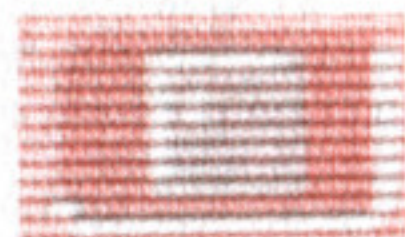
♪ 作曲に役立つ表示や機能

(コンポージャー画面の表示盤)

- 小節カウンター
作曲・再生中の小節が何小節目なのかを表示。
- テープカウンター
曲の最初から数えて何拍目かを表示。
- 五線譜表示盤
テープレコーダーに  を合わせ  ボタンを押すと五線譜に切りかわる。作曲・再生中の音の音程を表示。再び  ボタンを押すとテープレコーダーにもどる。
- 音名表示盤
作曲・再生中の音の音名をアルファベットで表示。
- 現在位置表示盤
作曲・再生中の拍が曲全体のどのあたりなのかを表示。

(メニュー画面への切りかえ)





作曲を終了する時は、メニュースイッチに  を移動し、 ボタンを押すと、画面は、メニュー画

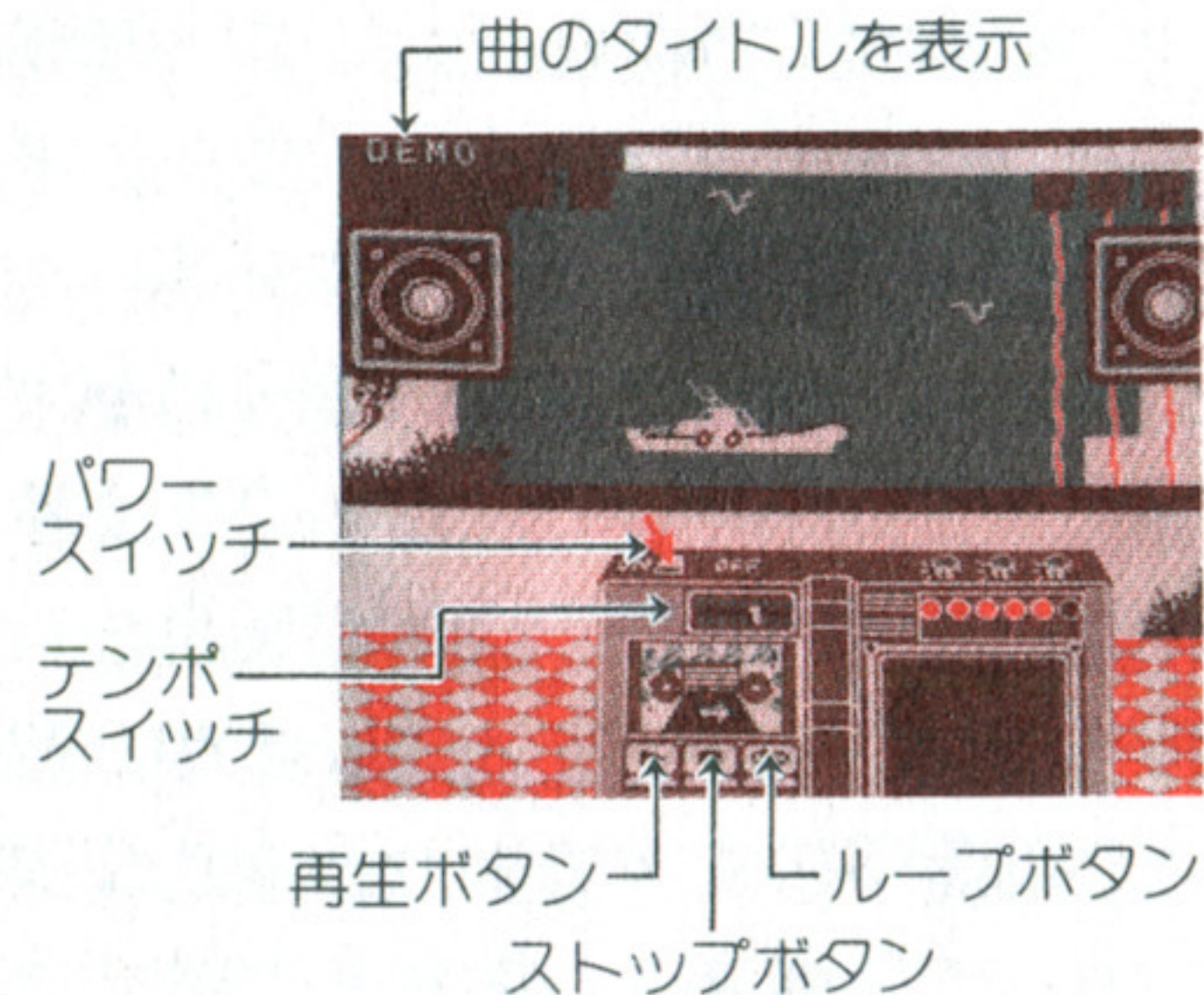


メニュースイッチ

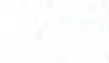

♪ グラフィック・プレイヤーで楽しもう!

(キミが作曲したサウンドがシーサイドカフェに流れる!!)

メニュー画面で、2.GRAPHIC PLAYERを選ぶと、画面は海辺のカフェテラス「マリンスクエア」に切りかわります。曲の再生・演奏のストップ・ループ再生は、画面上のラジカセの各スイッチに、 ボタンで  を移動し、 ボタンを押して行います。再生時のテンポの調整は、テンポスイッチを  ボタンの左右で動かして行います。



(グラフィックプレイヤーモードの終了)

ラジカセのパワースイッチに  を移動し、 ボタンを押すとしばらくしてメニュー画面にもどります。

♪ 曲のセーブ／ロード

(曲のセーブ)

せっかく苦勞して作ったオリジナル・サウンドだから、しっかりとディスクカードにセーブしておきましょう！

作曲ができたなら、メニュー画面で、4.SAVEを選んで、曲をセーブしましょう。ディスクには、最大6曲までセーブすることができます。1～6の空いている番号または、消してもよい番号に**+**ボタンで **☒** を移動し、**A**ボタンを押して、セーブする番号を決定します。すると、選ばれた番号に*が表示されるので、セーブする曲名(8文字以内)を入力します。曲名の入力は、1文字ずつ画面下の文字の中から**+**ボタンで選び、**A**ボタンで入力していきます。曲名入力時に **☒** を左右に動かすときには、“モデル”、“ススム”、曲名入力を中止したいときは“トリヤメ”を選んでください。

曲名を入れ終わったら、“セーブ”を選ぶと、曲のデータがディスクに記録されます。



(セーブの終了)

メニュー画面へもどりはいときは、**セレクト** ボタンを押してください。

(曲のロード)

ディスクカードにセーブしておいたオリジナル・サウンドは、いつでもロードして再生して楽しめます。

セーブした曲のロードは、メニュー画面で3.LOADを選び、ロード画面に切りかえて行きます。

1～6の中でロードしたい曲の番号に**+**ボタンで **☒** を動かし、**A**ボタンを押して曲を決定します。すると選ばれた番号に*が表示されるので“ロード”を選びます。

まちがえて曲を選んだ時には“トリヤメ”を選べば、*は消えます。

(ロードの終了)

メニュー画面にもどるには、**セレクト** ボタンを押してください。



特別実践講座「ねこふんじゃった変奏曲」

(上級テクニックをマスターする早道はこれ!!)

伴奏もメロディーも自分で入力する上級テクニックをマスターするために、かんたんな曲を題材にトライしてみましょう!

(「ねこふんじゃった変奏曲」)

まずメロディーから入力しましょう。

小節数	1	2	3	4
拍	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
コード	* * * *	C C C C	C C C C	C C C C

ラソ ミ ド ド ラソ ミ ド ド ラソ ミ ド ラド

小節数	5	6	7	8	9
拍	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
コード	G G G G	G G G G	G G G G	G G G G	C C C STP

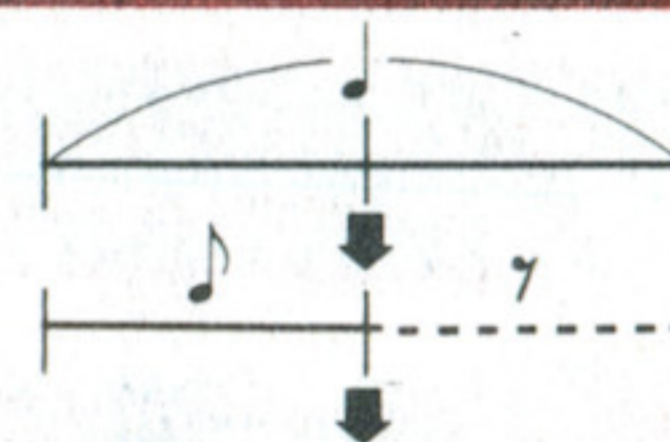
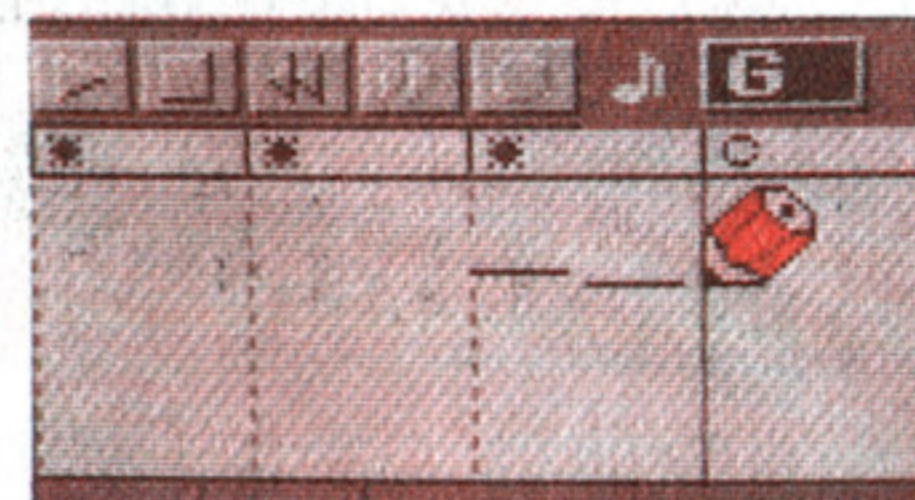
ソ シ シ ラソ ソ シ シ ラソ ソ シ シ ラソ ソ シ ラシ ドドド

- ①リズム画面で、「ROCK1」を選ぶ。
- ②コンポーザー画面でテープレコーダーを五線譜表示に切りかえ、スケールスイッチをCに、音長スイッチを8分音符「♪」に切りかえる。
- ③グラフ入力スイッチに を移動し(A)ボタンを押す。

④エンピツを1小節目の4拍目に 右で移動。

⑤ の上下でエンピツをラ(A)の位置に移動し(A)ボタン。

⑥ 右を1回押し 下を2回押しソ(G)の音にエンピツを移動して(A)ボタン。



⑦楽譜で4分音符の所は、8分音符+8分休符にして、続きを入力。

⑧9小節目の3拍目まで入れ終わったらグラフ入力モードをぬけ、伴奏パートスイッチを全てOFFにし、(スタート)ボタンを押して聴きましょう。OKなら再生をストップ。



⑨ をコード欄に移動し(A)ボタンを押す。

⑩コードパレットで*を選び、1小節目の*4つを入力。

⑪2小節目以降はすべてメジャーなのでルート(CかG)だけを選んで入力していけばよい。

⑫最後の「STP」を入れたら、(セレクト)ボタンを押す。

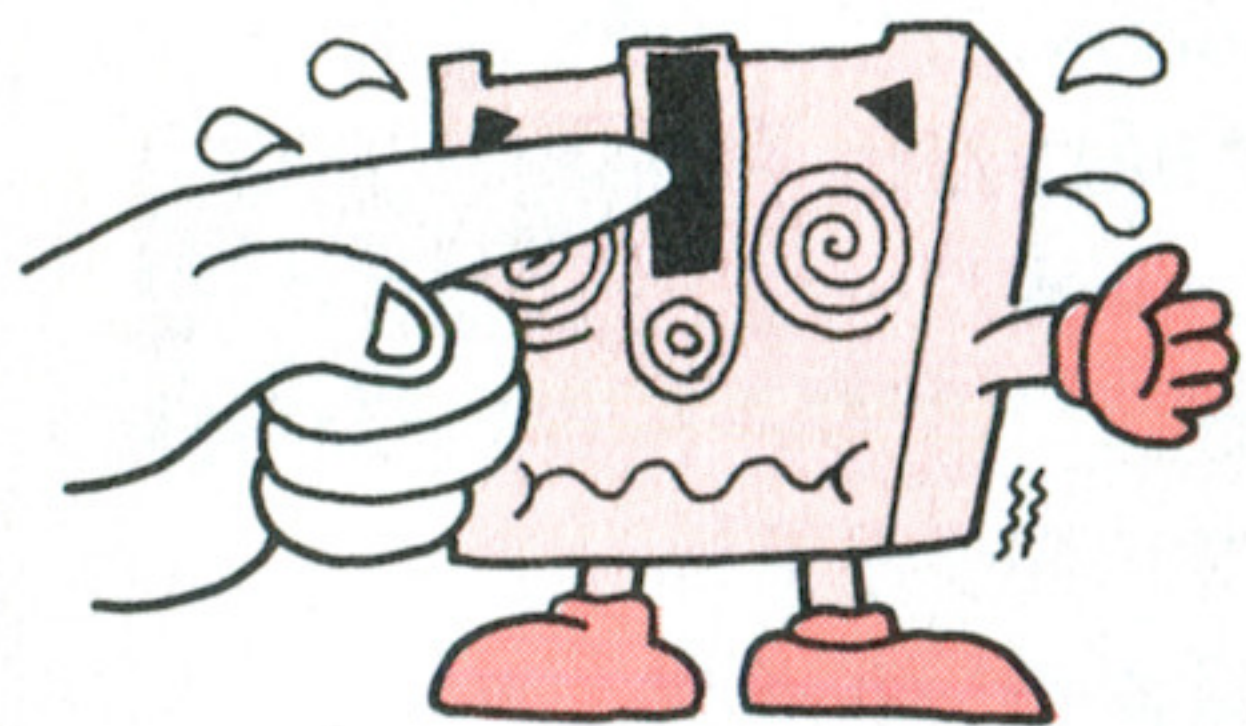
⑬伴奏パートスイッチを全てONにして曲を再生!

⑭まちがいがなければ出来上り! サウンド表示やリズム表示をいろいろ変えて、楽しんでみましょう。

これだけは覚えてほしい注意事項

ディスクカードは、カセットよりもデリケート。注意をよく読んで楽しんでネ!

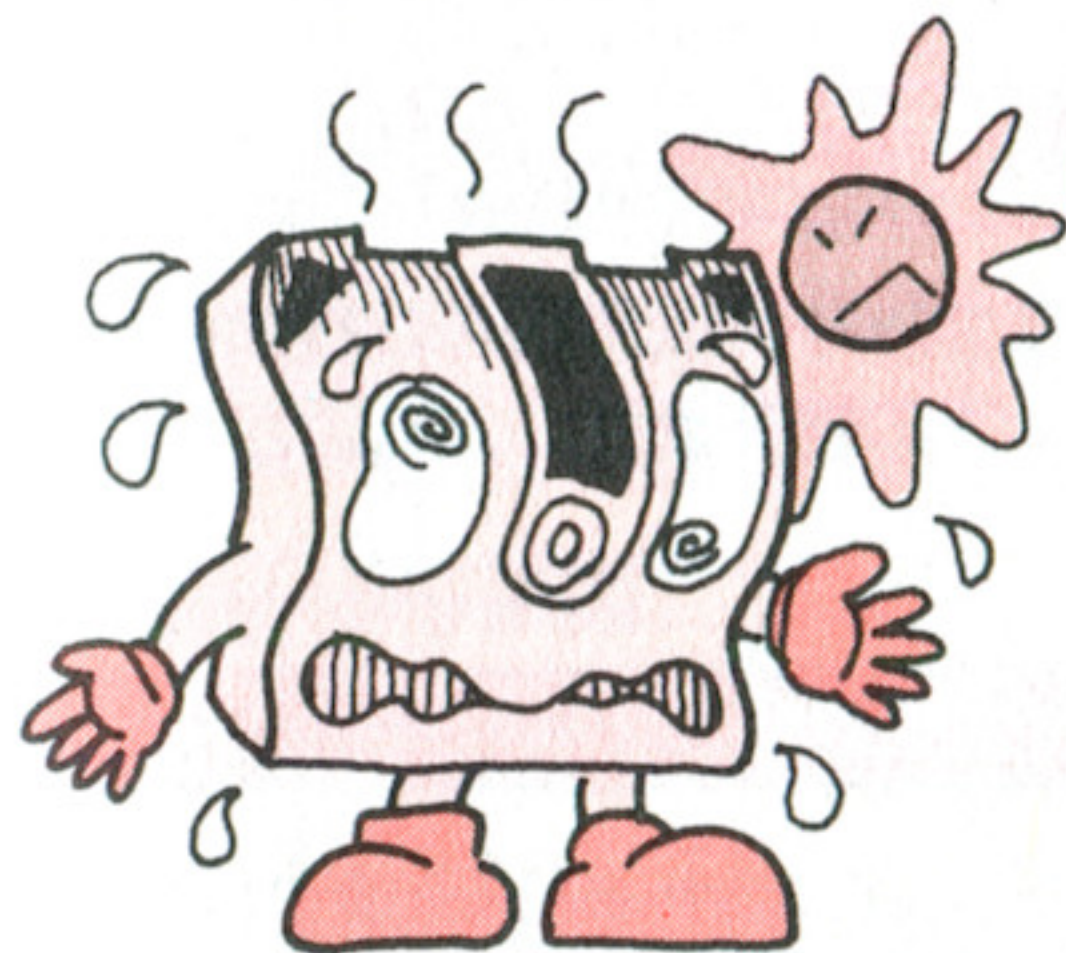
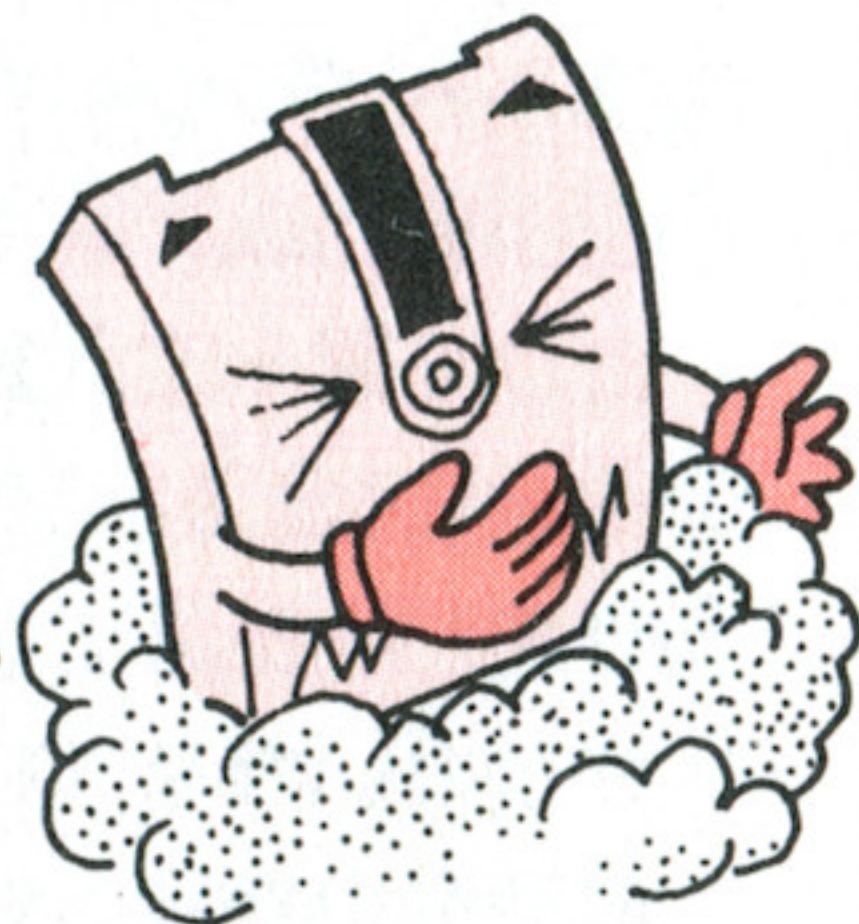
ディスクカードは大切に取り扱いおう!



ディスクカードの窓から見える茶色の磁気フィルムの部分には、ぜったいに指などで触れないでね! 汚したり、傷つけたりすると、ゲームができなくなるぞ。

ホコリが大きらい!

ディスクカードは、ゴミゴミしたホコリっぽい所は、大きらい! ホコリは、ディスクカードの大敵なんだ。いつも、プラスチックケースの中に入れておこう。

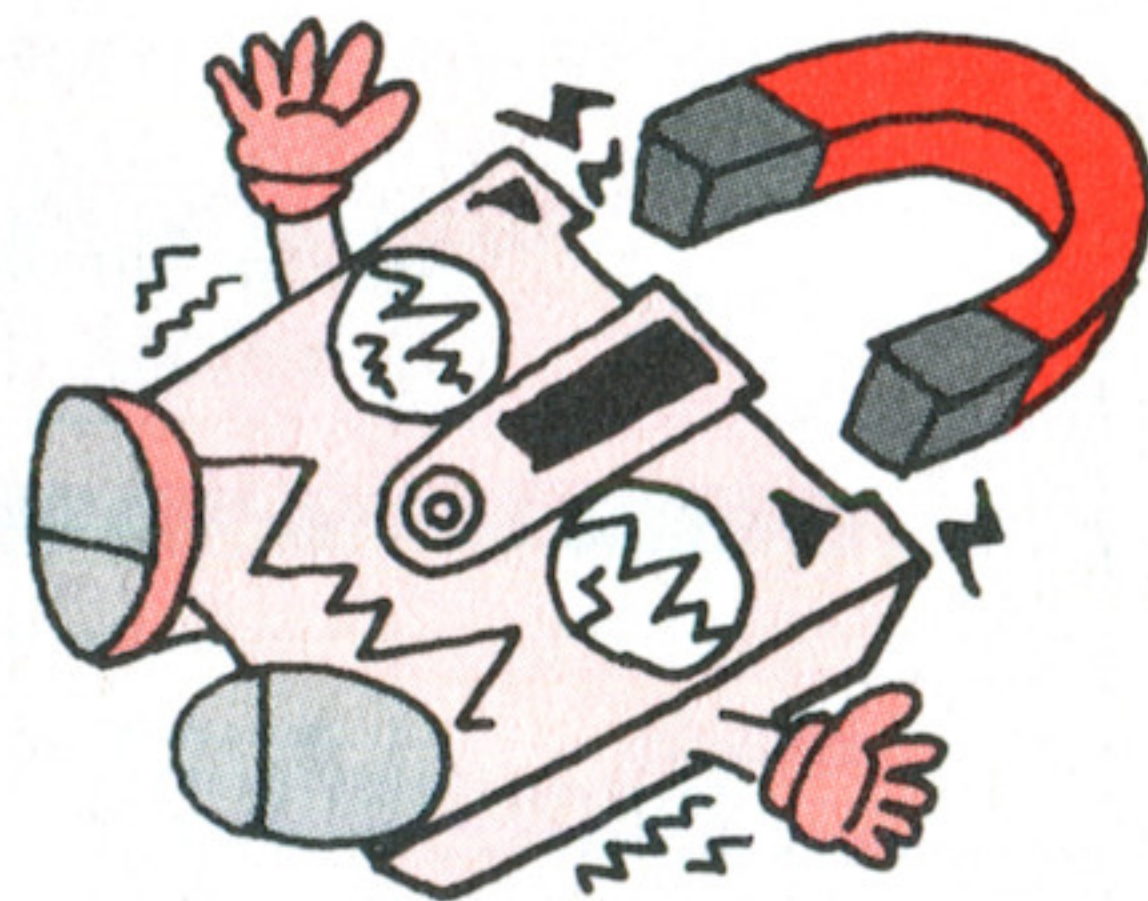


暑さによわい!

ディスクカードは湿気や暑さが苦手。涼しくて風通しのよい場所に保管しよう。直射日光にもあたらないようにしよう。暑い夏はとくに注意してね。

磁石にヨワイ!?

磁石を近づけると、プログラムや君が作曲した曲のゲータがいつしゅんのうちに消えちゃうんだ。ぜったいに磁石の近くに置かないようにね。テレビやラジオにも磁力があるから、近づけないでね。



ディスクドライブの赤ランプがついている時は、EJECTボタンを押したり、本体の電源やRESETスイッチに手を触れちゃダメ。大きな衝激も与えないように注意しようね。

ディスクシステムが正常に作動しなくなった時には…

ディスクシステムが正常に作動しなくなった時には、画面に異常を知らせるエラーメッセージが表示されます。下の表を参考にして原因を調べてください。

エラーメッセージ	内容と対処方法
DISK SET ERR.01	ディスクカードが正しくセットされていません。
BATTERY ERR.02	ディスクドライブの電圧が規定値以下です。乾電池を新しいものに交換してください。
ERR.03	ディスクカードのツメが折れています。他のカードを使うか、ツメの所にテープをはってください。
ERR.04	違ったメーカーのディスクがセットされています。
ERR.05	違ったゲーム名のディスクがセットされています。
ERR.06	違ったバージョンのディスクがセットされています。
A, B SIDE ERR.07	ディスクカードの表と裏が逆にセットされています。
ERR.08	違った順番のディスクがセットされています。
ERR.20~	ディスクカードを買ったお店か、発売元へ相談してください。

ゲームの内容などについての電話でのお問い合わせには、一切お答えできませんので、ご了承下さい。

1987年10月初版

 DISK SYSTEM
ファミリーコンピュータディスクシステム

**ファミリー
コンピュータ**


東京書籍

発行 東京書籍株式会社
東京都文京区本駒込6-14-9
〒113 ☎03-942-4138

©1987ミュージカルプラン
©1987東京書籍

ファミリーコンピュータ・ファミコンは任天堂の商標です。禁無断転載

「ファミリーコンポーザー大賞」募集要項 作曲コンテスト

以下の内容をよくお読みのうえ、御応募ください。

■応募受付期間

1987年12月1日～1988年1月31日(必着のこと)

■応募資格

- ①「ファミリーコンポーザー」を使用して作曲・再生した楽曲であること。
- ②未発表のオリジナル曲で5分以上の長さであること。
- ③ジャンル、性別、年齢、アマ・プロを問いません。

■参加部門

年齢・学年別に3つの部門に分かれます。

- Aクラス：小学生以下
- Bクラス：中学生
- Cクラス：高校生以上

■応募方法

カセットテープのA面の先頭から作品を録音し、右下の「応募用カセット・ラベル」を貼り、必要事項をきれいに記入した「応募用紙」を同封のうえ、事務局まで郵送してください。

■応募先

〒113 東京都文京区本駒込6-14-9 東書第2ビル
「ファミリーコンポーザー大賞」事務局募集係

■制作・応募上の注意

- ①応募は郵送のみ受け付けます。郵送中の事故等は一切責任を負いません。
- ②作品は返却しません。作品の著作権は主催者に帰属するものとします。
- インフォメーション・ダイヤル(問合せ受付)

月～金曜日の13:00～17:00に限り受付 ☎03-835-6182

■入選各賞

1次審査、2次審査、さらに、ミュージシャン、タレント、プロデューサー等による最終審査により次の各賞が選ばれます。

- ★ファミリーコンポーザー大賞(1作品)(奨励金10万円、他)
- ★部門賞グランプリ(各クラス1作品)(記念品、他)
- ★部門賞準グランプリ() () ★主催/協力/協賛各社賞

■結果発表

最終審査の結果は、1988年3月発売の月刊宝島・ファミコン誌等で発表します。なお、進行状況、審査経過は随時、各雑誌やテレホンサービス(☎03-223-3000)でレポートしていきます。

主催●東京書籍 協力●アルファレコード(GMOレーベル)
/月刊宝島/「バンドやろうぜ」 協賛●各社

「ファミリーコンポーザー大賞」応募用紙 作曲コンテスト

曲名	部門	A・B・C	※ここには記入しないでください No.	
フリガナ			性別	男・女
氏名			年齢	才
職業 (学校名・学年)			年齢	才
住所	〒			
	☎			
保護者 氏名			年齢	才
作品に対するコメント		「ファミリーコンポーザー」購入方法		
		月 日 新規・書換		
		店名		

応募用カセット・ラベル

曲名 _____ ※ここには何も記入しないでください。

氏名 _____ NO. _____

※この部分を切り抜いて貼り付けてください

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

※同梱されてくる応募用紙